

赤い花の成長を祈って

6月10、18、19日に鹿公園と追分公民館横の畑で「赤いひまわりの植栽事業」が行われました。

本事業は赤いひまわり百万本の会と町の共催で行われ、追分小学校、中学校、高等学校の生徒らが参加。18日には、追分公民館横の畑で追分高等学校の全校生徒が、1500本の苗を植えました。

花の見ごろは、8月に入ってからとのこと。綺麗な花を咲かせるといいですね。

国際色で彩る花壇に

6月22日、およそ150名が集まり、瑞穂ダム植樹祭が実施されました。

平成17年から瑞穂ダム周辺の植樹活動を続ける瑞穂ダムドリウムランド・カントリークラブは昨年、安平町と同緯度に位置する日本と国交を持つ全17か国の輪を象徴する証として「友好の碑」を建立。「景観を守るためにも、こうした活動を継続していきたい」と同クラブ会長納口氏は話していました。



ボール追いかけてもう1点!

6月22日、少年サッカー大会「第3回はいチーズ!ニコニコカップ」が、はだしの広場で開催され、集まった24チームが熱戦を繰り広げました。

町内から参加したチームの結果は次のとおりです。

- ・ 14歳以下 3位早来中A
- ・ 11歳以下 3位早来フェリーレFC
- ・ 8歳以下 2位早来フェリーレFC

栄えある受章 おめでとうございます

春の叙勲「瑞宝単光章」を受章

漆坂與作氏

氏は、昭和42年2月に早来消防団（現安平消防団）遠浅分団入団以来、38年2か月という永きにわたり、消防団業務に精励され、安全で住みよい町を守るため、消防団活動に献身的な努力を捧げられました。

昭和56年、全道各地を襲った台風12号による水害のほか、工場火災や住宅火災時においては、常に第一線に出動し、適切な災害現場指揮者として卓越した統率力を発揮、被害を最小限に抑えたことは、氏の豊富な知識と適切な判断力が活かされた証であります。

また、著しい社会情勢の変化に順応して行くため、熱心に団員の育成指導を務め、消防設備の充実に力を注いでこられるなど、消防体制や消防行政の強化にも尽力されてきたことが評価されての受章となりました。

